

「日本バプテスト連盟第 71 回定期総会 議案説明②」 吉田真司

前回 (12/14) 巻頭言に続けて標題の二回目です。今号では主要議案の内、以下二つの議案について要約してお知らせします。

■ 2026 年度活動方針並びに活動計画の件

2026 年度の主題 (案) は「多様な声の響きあう協力伝道を目指して」です。

取り組み重点項目は、①バプテストフェスティバルの開催・・・2026/8/6(木)-8(土)の日程で西南学院大学で行う。加盟教会の 75% の参加を目指す。②財政課題への取り組み・・・2027 年度に一般会計を収支均衡させることを目指す。教役者退職金の過去の運用課題の調査を踏まえて、多額の損失補填など具体策を講じる。2026 年度からの職員給与規程の見直しを行う。長期的財政計画策定に取り組む。③新たな「教会支援」の仕組み・・・教役者家計困窮・教会堂老朽化対策の新制度を検討。なお、新しい「支援」構想については別記 (次回)。④協力伝道体としてのネットワーク構築・・・協力伝道諸活動の報告・共有のために連盟ホームページ特設サイトの充実を図り活用を促していく。⑤与えられた恵みの管理と活用・・・連盟出捐の不動産 (多くは米国南部バプテストからの捧げもの) の恵みを改めて確認し、これまでの用い方・管理責任などを顧み、これからも感謝をもって豊かに用いるために、危機管理的な意味からも管理体制を整えていく。

■ 2027 年度以降の宣教研究所のあり方の件

前回 70 回総会で検討不十分として否決された議案です。理事会と宣教研究所運営委員会のあらためての協議の末、両者合意のもと上程されました。主な提案内容は、①2027 年 3 月 31 日付で連盟の機関「宣教研究所」を廃し、2027 年 4 月 1 日より「宣教研究所」を連盟事務所内部の一部署に統合する (事務所 3 室 1 所体制へ)。所長 1 名体制 (週二日勤務) によって同研究所の機能を担う。宣教研究所会計は一般会計に統合する。②2026 年 4 月 1 日より協力伝道献金の 10% を宣教研究所会計に繰り入れることを停止する。③時代・神学・教会を結び付ける研究機能、教役者を育成・支援する研修機能、諸教会に資する研究成果の発信機能という「三本柱」を有機的に関連させながら、重点的な活動を絞ったうえで執行していく。

(1/11 号につづく)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、)		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中心林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>